

# 地域における理解促進に向けた取組について

# 地域連絡協議会の開催

## 協議会の趣旨

地域住民に、感染症研究拠点整備に関する検討状況に関して情報提供を行うとともに、地域住民の安全・安心の確保等について協議をするため、長崎県・長崎市・長崎大学による協議会のもとに地域連絡協議会を設置。

## 地域連絡協議会の構成員(令和5年3月13日時点)

### 1. 近隣連合自治会長・自治会長(7名)

- (1) 後田 知久 高尾地区連合自治会長
- (2) 梶村 龍太 平野町山里自治会長
- (3) 久米 直 山里地区連合自治会長
- (4) 末吉 征志 本尾町自治会長
- (5) 田中 通孝 江平自治会長
- (6) 道津 靖子 山里中央自治会長
- (7) 藤本 昭広 平和町自治会長

### 2. その他地域住民等(5名)

- (8) 神田 京子 公募委員
- (9) 寺井 幹雄 公募委員
- (10) 原 拓也 公募委員
- (11) 藤原 義博 公募委員

### 3. 学識経験者・専門家(7名)

- (12) 泉川 公一 長崎大学病院感染制御教育センター長・医歯薬学総合研究科教授
- (13) 田川 伸一 長崎都市経営戦略推進会議事務局長
- (14) 高藤 義弘 日本労働組合総連合会長長崎県連合会長
- (15) 福崎 博孝 弁護士
- (16) 森崎 正幸 長崎県医師会長
- (17) 山下 肇 弁護士
- (18) 吉田 文彦 長崎大学核兵器廃絶研究センター長・教授

### 4. 行政(2名)

- (19) 長谷川 麻衣子 長崎県福祉保健部感染症対策室長
- (20) 山口 英俊 長崎市市民健康部地域保健課長

### 5. 長崎大学(7名)

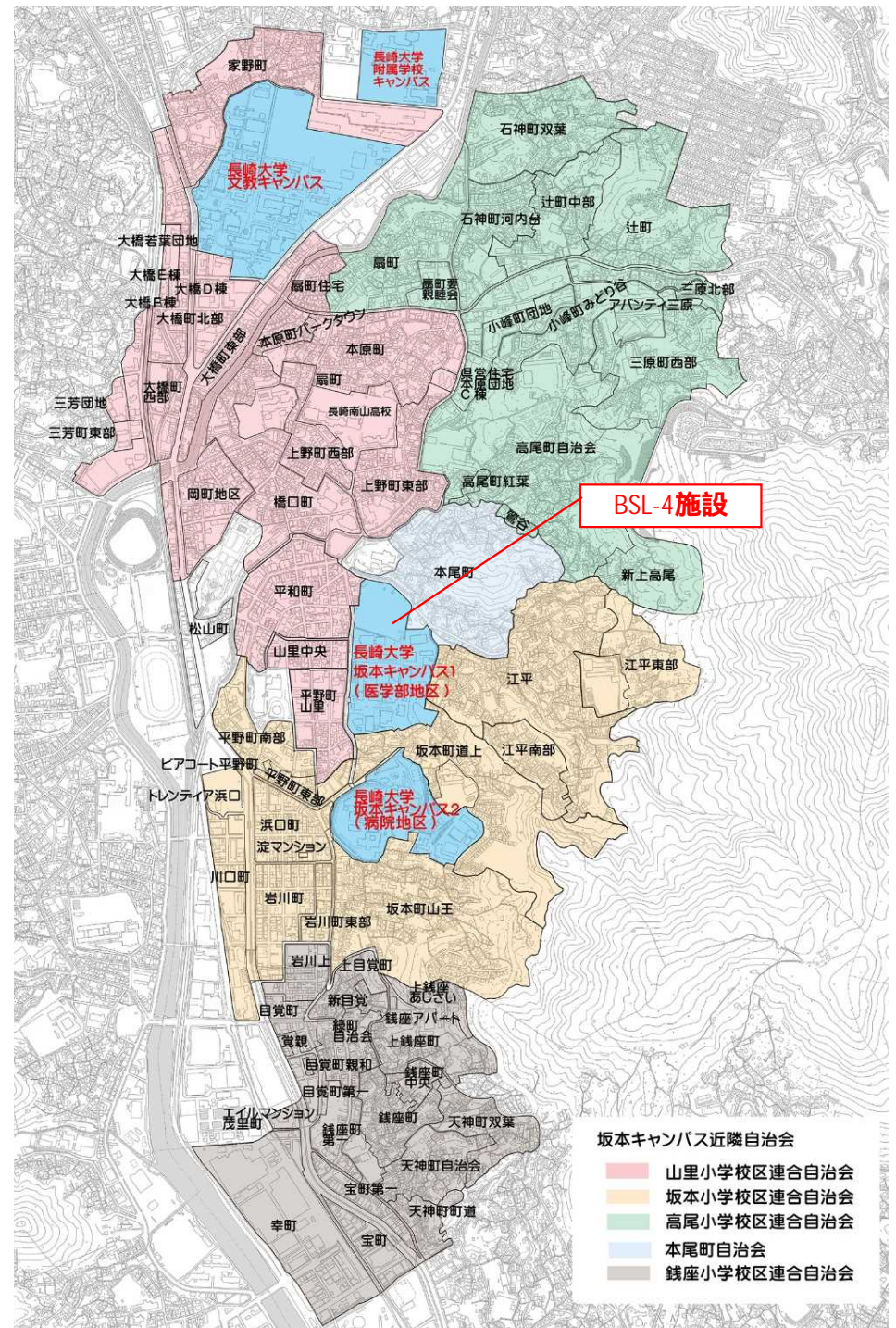
- (21) 調 漸 長崎大学高度感染症研究センター・副センター長
- (22) 安田 二郎 長崎大学高度感染症研究センター・副センター長
- (23) 南保 明日香 長崎大学高度感染症研究センター・教授
- (24) 中嶋 建介 長崎大学高度感染症研究センター・教授
- (25) 渡部 康一 長崎大学高度感染症研究センター・教授
- (26) 森田 公一 長崎大学感染症研究出島特区長

( 〃 は議長、 〃 は副議長)

# 開催実績

開催日	回数	主な議題
H28年5月12日	第1回	BSL-4施設設置計画
6月 2日	第2回	ウイルスの特徴、立地の地価等
6月30日	第3回	施設の安全対策、施設のリスク対策等
7月13日	第4回	国の関与、立地の安全性等
8月 3日	第5回	委員からの質問・意見
8月31日	第6回	委員からの質問・意見
9月 9日		国立感染症研究所の視察
9月27日	第7回	委員からの質問・意見
12月25日	第8回	委員からの質問・意見への回答
H29年2月17日	第9回	基本構想、熱研における病原体の安全管理状況、委員からの質問・意見への回答
5月23日	第10回	基本構想(中間まとめ)、委員からの質問・意見への回答
7月4日	第11回	基本構想(中間まとめ)、委員からの質問・意見への回答
8月22日	第12回	基本構想とりまとめ、委員からの質問・意見への回答
12月20日	第13回	基本構想、諸外国のBSL-4施設、安全確保上考慮すべき事象、委員からの質問・意見への回答
H30年2月9日	第14回	基本構想の印刷・配付、委員からの意見書、委員からの質問・意見への回答、平成30年度予算政府原案、安全確保上考慮すべき事象
3月18日	第15回	前回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答、安全確保上考慮すべき事象
5月8日	第16回	安全確保上考慮すべき事象、委員からの質問・意見への回答
6月29日	第17回	BSL-4施設の設計概要、前回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答
7月20日	第18回	委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントに基づく対応、建設までの主な工程
8月10日	第19回	委員からの質問・意見への回答
9月28日	第20回	BSL-3実験室からの排気検査結果、リスクアセスメントに基づく対応、緊急時の対応、委員からの質問・意見への回答
10月26日	第21回	第20回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答
11月14日	第22回	今後のスケジュール、委員からの質問・意見への回答
12月19日	第23回	委員からの質問・意見への回答
H31年2月6日	第24回	今後のスケジュール、平成31年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答
R元年5月14日	第25回	今後の審議事項、建設工事の状況、平成30年度予算の執行状況、委員からの質問・意見への回答
7月17日	第26回	建設工事の状況、平成30年度予算の執行状況、委員からの質問・意見への回答
9月27日	第27回	建設工事の状況、地域説明の予定、監理委員会や予算要求の状況、委員からの質問・意見への回答、運用規則の検討

# 坂本キャンパス周辺の連合自治会・自治会



開催日	回数	主な議題
R元年11月19日	第28回	建設工事の状況、説明会等の実施状況、委員からの質問・意見への回答、運用規則・教育訓練
R2年2月7日	第29回	建設工事の状況、地域連絡協議会の報告会、令和2年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答
8月21日	第30回	建設工事の状況、令和元年度予算の執行状況、監理委員会報告、研究棟の建設計画、委員からの質問・意見への回答
8月25日	第31回	委員からの質問・意見への回答
10月14日	第32回	建設工事の状況、令和3年度概算要求、ロードマップ2020の採択、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応（陽圧防護服）
12月18日	第33回	建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応（実験者の管理、実験内容の確認及び地域への伝達）
R3年2月12日	第34回	建設工事の状況、令和3年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応（廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理）
3月17日	第35回	建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応（廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理）
5月31日	第36回	研究棟建設工事の状況、令和2年度予算の執行状況、監理委員会報告、委員からの質問・意見への回答、施設設備の維持管理及び緊急事態への対応
6月2日	第37回	実験棟視察の事前説明、実験棟視察、質疑応答
7月19日	第38回	研究棟建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答
10月26日	第39回	研究棟建設工事の状況、長崎県・長崎市・長崎大学による緊急時の対応に関する検討状況、委員からの質問・意見への回答
R4年3月23日	第40回	研究棟建設工事の状況、長崎県・長崎市・長崎大学による緊急時の対応に関する検討状況、委員からの質問・意見への回答
6月28日	第41回	監理委員会報告、令和3年度予算の執行状況、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、伝達を行う目安、委員からの質問・意見への回答
9月27日	第42回	感染症研究出島特区・高度感染症研究センター出航式の開催、伝達、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、安全管理に向けた施設運用に関する事項（実験棟の安全管理規則案）、委員からの質問・意見への回答
12月20日	第43回	地域への情報伝達、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、安全管理に向けた施設運用に関する事項（実験棟の病原体等取扱安全管理基準案）、委員からの質問・意見への回答
R5年2月15日	第44回	安全管理に向けた施設運用に関する事項、委員からの質問・意見への回答、新たな地域連絡協議会への移行



**委員会会場（新型コロナに配慮して、会場参加とオンライン参加を併用して開催）**



**傍聴会場（一般傍聴者・報道関係者）**

**地域連絡協議会の開催  
【平成28年度からこれまで44回開催】**

## 前回監理委員会以降の開催状況、議題及び主な質疑等

### 令和4年3月23日 第40回

【議題：研究棟建設工事の状況、長崎県・長崎市・長崎大学による緊急時の対応に関する検討状況、委員からの質問・意見への回答】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
長崎大学長宣言で、軍事等への寄与を目的とする研究は受け入れの対象としないということを明確にし、BSL-4施設の玄関に掲示することを決定されたことは、高く評価する。	
緊急時の地域住民への伝達方法について ・防災行政無線を使いつつ、野外スピーカーなど周辺に知らせることのできるツールを持つ必要があるのではないかと。 ・必要に応じて情報発信するのではなく、小さなぼやでも緊急事態であり、情報発信は例外なく行うべきだと思う。	・野外スピーカーの設置については、離れたところでは何を言っているかほとんど聞こえず、個人的にはほとんど役に立たないような気がするが、持ち帰り検討したい。 ・情報発信をやらないということではない。

### 令和4年6月28日 第41回

【議題：監理委員会報告、令和3年度予算の執行状況、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、伝達を行う目安、委員からの質問・意見への回答】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
伝達を行う目安について(発生を自治会長に伝えることについて) ・第一報を受けて自治会長として何をすればよいのか。 ・第二報に備え、自治会ごとにルールを定めるというのが一般的ではないか。 ・第一報の情報を地域住民に伝達するかどうかを自治会長の判断でやれと言われると荷が重い。 ・いらぬ混乱を招かないよう、第二報を待て、でよいのではないかと。	・さまざまなご意見を頂いたので、次回また整理したい。
新たな地域とのコミュニケーション組織の検討について ・近隣の自治会長が委員となるのがよいのではないかと。学校関係者は入れなくてよいのか。 ・地域住民の理解が進むような情報公開のあり方の検討についても協議事項にしたかどうか。 ・緊急事案発生後には随時会議を開催し報告するようにはどうか。	・以前PTA 会長に委員就任の打診をしたところ辞退された経緯もあり、入っていただけかどうか疑問である。 ・頂いた意見を今後の検討課題としていきたい。

## 令和4年9月27日 第42回

【議題：感染症研究出島特区・高度感染症研究センター出航式の開催、伝達、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、安全管理に向けた施設運用に関する事項、委員からの質問・意見への回答】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
不測の事態発生時の住民への伝達について ・自治会自体が住民を代表しているとは言えない。必要なときには自治会の加入者だけでなく、全員に伝わるようにしておくべき。 ・スピーカーを用いた連絡については、非常事態での連絡なので、うるさいというクレームは出ないのではないか。安心につながるので、検討してほしい。	・スピーカーを用いた連絡も検討したが、近くに民家があるため、うるさいと許可をいただけないのではないかと大学内部では思っている。 ・頂いた意見を踏まえ、さらに検討したい。
新たな地域とのコミュニケーション組織の検討について ・公募委員の募集は考えていないのか。	・新たな委員を公募することは考えていないが、これまでの協議会でたくさんのご意見をいただき、経緯をよく理解されている方には入っていただくことを考えている。
実験棟の安全管理規則(案)について ・住民の要望や不安に寄り添った内容が織り込まれており、非常にうれしい。 ・学長とセンター長、監視委員会と管理委員会などの関係が文章ではわかりにくいので、図式で示してほしい。	・次回提示したい。(第43回で資料を配付し、説明済)

## 令和4年12月20日 第43回

【議題：地域への情報伝達、新たな地域とのコミュニケーション組織の検討、安全管理に向けた施設運用に関する事項、委員からの質問・意見への回答】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
地域への情報伝達について ・緊急度が高いときには野外スピーカーが有用である。距離によっては正確に内容が聞き取れないかもしれないが、他の連絡方法への誘導になる。 ・不明瞭で断片的な情報が聞こえてくると、住民が混乱して危険だと思う。防災メールの登録者が増えるように行政からもっと周知を徹底してほしい。 ・高い緊急性があり住民に早急に知らせる必要がある場合は、警察、消防等から連絡があると思うので、必ずしも野外スピーカーが必要だとは思わない。 ・緊急性が高く危険な状況での活用が想定されるので、そのリスクを考えると使用する可能性が低くても野外スピーカーを設置したほうがよい。	・実験棟で起こった事象については必ず報告することを基本的な考えとし、緊急にお知らせすべき場合は、可能な限り速やかに情報を発信する。ただし、事象発生時の自治会長への個別の発生連絡は、前回までの地域連絡協議会の議論を踏まえ、大学として責任ある判断をした結果、行わないことにする。 ・野外スピーカーの設置については、頂いた意見を踏まえ更に検討を深めたい。
実験棟の病原体等取扱安全管理基準(案)について ・国立感染症研究所村山庁舎のBSL-4施設の規則・基準と比較し、どれだけ厳しいものになっているのか、可能な範囲で説明してもらいたい。	・感染症に基づき感染研も作成しており、同じような形の内容になると思うが、次回提示したい。(第44回で資料を配付し、説明済)

## 令和5年2月15日 第44回

【議題: 新たな地域連絡協議会への移行、安全管理に向けた施設運用に関する事項、委員からの質問・意見への回答】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
長崎市の大規模事故対策計画について ・大規模事故対策計画に、バイオ事故・災害対策なる計画は織り込まれたのか。 ・早急をお願いしたい。いつまでにやってくれるのか。	・長崎大学の安全管理規則等が策定中であり、その内容を踏まえ、何らかの形で掲載する方向で引き続き検討したい。 ・なるべく早い段階で盛り込めるように準備を進めたい。
チェックシートについて ・ヒヤリハットの発生は皆無ではないと予想されるので、ヒヤリハットが発生したら、対応するチェック項目を見直し、改善することで、完璧なチェックシートになるのではないか。	・そのような方向で進んでいきたい。
新たな地域連絡協議会への移行について ・現協議会に参加していなかった連合自治会長を是非参加させてほしい。	・これまでも直接お会いしてお願いしてきた。無理強いはできないが、引き続き説得に努めたい。なお、本協議会の内容は役員会で説明しているとのことである。 ・三者連絡協議会で協議のうえ、次年度当初からの新たな地域連絡協議会への移行を進めたい。

## 新たな地域連絡協議会

「高度感染症研究センター実験棟の運用に関する地域連絡協議会」

以下、規約案より抜粋・要約

(組織の設置)

高度感染症研究センター実験棟の運用にあたり、その運用状況に関する情報について地域住民へ提供し、施設の厳格な管理及び安全な運用の継続的な実施に資するため、高度感染症研究センター実験棟の運用に関する地域連絡協議会を設置する。

(協議する事項)

- 施設の運用状況に関すること
- 安全対策及び災害時対策に関すること
- その他(情報共有、検討事項など)

# 地域理解活動（最近の活動状況）

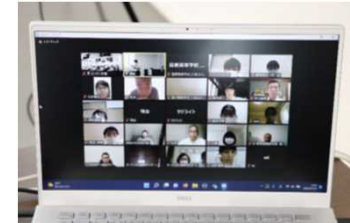
## 地域イベントへの参加等（会場設営、運営スタッフとして）

- ・令和4年8月7日（日）  
山里地区サマーフェスティバル&浦上の鐘と天主の灯コンサート
- ・令和4年12月3日（土）  
平和と祈りのクリスマスコンサート&イルミネーション点灯式in天主公園



## 市民向け公開講座等

- ・令和4年7月10日（日）13:00～15:20  
熱研夏塾2022「感染症研究のキャリアパス」  
（主催：熱帯医学研究所 共催：高度感染症研究センター）
- ・令和4年7月23日（土）14:00～15:30  
市民公開講座「ウイルス学研究に魅せられて」  
講師：浦田秀造 准教授  
オンライン参加 102枠 会場参加 46名
- ・令和5年3月18日（土）14:00～15:30開催予定  
市民公開講座「人獣共通感染症-ヒトと動物とウイルスと-」  
講師：津田祥美 准教授



## 刊行物（地域広報誌）

- 7,000部発行（隣接する地域4,000戸にはポスティング）
- ・令和4年9月 BSL-4 Report Vol.5



令和4年12月より「高度感染症研究センター 感染症ニュース」としてリニューアル。これまでの協議会での意見交換等の様子に加え新たにセンターで行われている研究の情報や感染症に関する身近な話題を紹介。

- ・令和4年12月 感染症ニュース Vol.1
- ・令和5年 2月 感染症ニュース Vol.2

## 地域住民を対象とした説明会等

- ・開催予定の自治会から市内の新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み開催延期との意向を受け、来年度の企画を検討中